

試合番号 : 459	試合会場 : ブレックスアリーナ宇都宮(宇都宮市体育館)	観客数 : 872			
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:26	試合時間 : 01:26			
主審 : 新田 浩幸	副審 : 渡部 菜保子				
東レアローズ	通算 19勝 5敗 ポイント: 58	25 第1セット 19	JTマーヴェラス	通算 20勝 5敗 ポイント: 60	
<b>監督コメント</b> 本日はホームゲームということで、たくさんのご声援をいただきありがとうございます。サーブレシーブをしっかり返しサイドアウトを取れ、リズムを作ることができました。明日の試合に向けてしっかりと準備していきたいと思っております。明日もご声援よろしくお願いいたします。	3	25 第2セット 22	0	<b>監督コメント</b> 東レに対してサーブとブロック&ディグで攻撃力を下げたかったが、相手サーブレシーブが崩れずサイドアウトされる場面が多々あった。逆に自分たちはサーブレシーブが安定せず苦しい時間が多かった。どんな時も自分たちのバレーボールをコートで表現し今日バレーボールができることに感謝し、また明日の試合に向けて最高の準備をします。本日はありがとうございました。	
		25 第3セット 20			
		第4セット			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> 東レアローズとJTマーヴェラスの首位争いの対戦となった。第1セットは一進一退の攻防となったが、サーブで崩して攻撃で得点した東レがセットを先取した。第2セットもサーブゲームで1点1点の取り合いになったが、東レはランと中田の攻撃が決まり、セットを連取した。第3セットはJTも粘りを見せて東レに食らいついたが、サーブレシーブや攻撃の良かった東レがセットカウント3-0で勝利した。					

試合番号 : 460	試合会場 : ブレックスアリーナ宇都宮(宇都宮市体育館)	観客数 : 948			
開始時間 : 14:30	終了時間 : 16:50	試合時間 : 02:20			
主審 : 浅井 唯由	副審 : 津島 由香				
岡山シーガルズ	通算 10勝 17敗 ポイント: 30	25 第1セット 22	PFUブルーキャッツ	通算 11勝 13敗 ポイント: 34	
<b>監督コメント</b> 負けられない相手同士で非常に力の入ったゲームとなった。第3セットを落とし相手に流れが傾きかけたところを全員で勝ち取れたところが収穫になったと思う。これに満足することなく若手、中堅選手を中心に成長し、残りの試合も頑張っていきたい。コロナ禍で落ち着かない中にもかかわらず、会場まで応援に来てくださった皆様、そしてリモートで応援してくださった皆様、誠にありがとうございました。明日もよろしくお願いたします。	3	27 第2セット 25	1	<b>監督コメント</b> パワーと高さで押し切った点数を取れたのはよかったと思うが、1本目や2本目の精度には課題が残る。岡山のプレーの精度の高さは見習うべきところが多かったと思う。連敗が続いて苦しい状況ではあるが、今のメンバーでベストのプレーができていると思う。フィニッシュまでの過程をしっかり整えたい。本日もたくさん応援ありがとうございます。	
		21 第3セット 25			
		27 第4セット 25			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> 第1セットは後半まで岡山シーガルズが2点のリードを奪う。PFUブルーキャッツは鍋谷のアタックで1点差に追いつくも、岡山は佐伯のアタックで突き放し、セットを先取した。第2セット、岡山は前半から佐伯や及川のアタックでリードする。中盤から後半にかけて、PFUは高相のサーブやジャンのアタック、綿引のブロックで追いつきデュースに持ち込んだが、最後はミスで岡山が辛くもセット連取した。第3セット、1点差を争う戦いとなった中盤、PFUは高相のサーブで岡山を崩しリードする。すぐさま岡山は佐伯のアタックで流れを取り戻すが、PFUは粘りでセットを取った。第4セットは序盤から岡山がリードする。PFUはじりじりと差を詰めたが、岡山は及川、付のアタックで対抗した。粘るPFUはデュースに持ち込むも、岡山は佐伯のアタックでセットを取り、セットカウント3-1で勝利した。					

試合番号 : 461	試合会場 : 富山県西部体育センター	観客数 : 574			
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:54	試合時間 : 01:54			
主審 : 慈眼 雅啓	副審 : 北村 友香				
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 3勝 21敗 ポイント: 7	18 第1セット 25	デンソーエアリービーズ	通算 16勝 10敗 ポイント: 44	
<b>監督コメント</b> 残念ながら、本日のホームゲームで地域の皆さんに勝利をお届けすることはできませんでしたが、気持ちを切り替え、明日のゲームに臨みたいと思います。今後ともご声援よろしくお願いいたします。	1	15 第2セット 25	3	<b>監督コメント</b> 先週の勢いを生かして、勝利を飾ることができました。セットの序盤で相手にリードされる展開を作ってしまったことが明日に向けての修正点だと思います。エアリービーズらしい粘りから自分たちのリズムで攻撃できるように明日も頑張ります。今日も熱い声援を送っていただきありがとうございます。	
		25 第3セット 21			
		16 第4セット 25			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> 現在6位のデンソーエアリービーズは、5位の埼玉上尾メディックスに勝数では並んでおり、ポイント差を詰めたいところ。対するKUROBEアクアフェアリーズは最下位に位置しているものの、主力選手が先発に戻り、チームの調子も上がっている。第1セット、立ち上がりからKUROBEはコラム、金杉の独打が決まり8-4とリードし流れを掴んだが見えた。しかし、10-6から5連続でミスによる失点をする、完全に流れはデンソーに。その後もデンソーは中元のサーブエースやアコスタのスパイク、ブロックなどで6連続得点し、合わせて11連続得点で17-10とすると、このリードを生かしセットを先取した。第2セット、このセットもデンソーがセッター松井を中心とした厚い攻撃陣で猛攻を仕掛ける。デンソーが11-9から兵頭のスパイク、ブロックなどで5連続得点し一気にリードを広げると、その後も麻野の移動攻撃などで更に7連続得点しKUROBEを突き放す。KUROBEはラッツのバックアタックで反撃するも及ばず、大差でデンソーがセットを連取した。第3セット、デンソーが7-9から横田(真)のスパイクなどで5連続得点すると、このセットもデンソーの流れが進むか見えた。しかし、KUROBEは15-17からコラムの連続スパイク、ラッツのブロックなど4連続得点で逆転すると2点差で終盤へ。KUROBEがこのリードを保ちセットを取り返した。第4セット、序盤からデンソーはアコスタ、兵頭などで連続得点を重ねリードを広げ、一方的な流れで進む。終盤、KUROBEは途中出場した浮島が3本のスパイクを決め反撃するも点差は埋まらず、このセットもデンソーが大差で奪い試合を決めた。					

試合番号 : 462	試合会場 : 富山県西部体育センター	観客数 : 604			
開始時間 : 14:40	終了時間 : 16:08	試合時間 : 01:28			
主審 : 本間 明	副審 : 佐々木 伸子				
日立Astemoリヴァーレ	通算 11勝 16敗 ポイント: 32	22 第1セット 25	トヨタ車体クインシーズ	通算 7勝 21敗 ポイント: 22	
<b>監督コメント</b> ミスを出してはいけない場面でのミスから余裕のない展開が続き、悔しい結果となってしまいました。こうして思われた環境でバレーボールができています。試合ができてことに感謝して、明日はしっかりと切り替え、粘り強い日立Astemoリヴァーレをお見せできるように頑張ります。必死になり全員で勝利を掴みたいと思いますので、明日もご声援をよろしくお願いいたします。	0	24 第2セット 26	3	<b>監督コメント</b> どのチームにも驚異的な粘りでフルセットに持ち込む日立Astemoリヴァーレ相手に、もつれる激しい試合になることを予想して、メンタル面の準備を強化して臨んだ。何度か優勢になりながらブロックでしこくラリーを作り、ブレイクチャンスでサーブを激しいコースに攻め続けたことが勝利につながった。特に緊迫した場面でも、杉原、周田、数田ら後から入ったメンバーが、連続得点を引き寄せる結果を出してくれたのが嬉しく思う。チーム応援団も愛知から富山にかけつけてくれ、大きなパワーをもらいながら戦えました。明日は更に気持ちを引き締めて挑戦します。あたたかい声援ありがとうございます。	
		15 第3セット 25			
		第4セット			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> 現在、8位の日立Astemoリヴァーレと10位のトヨタ車体クインシーズの対戦。今シーズンの対戦成績は日立Astemoが2勝しているが、調子を挙げているトヨタ車体が一失報いるかが見どころ。第1セット、立ち上がりからトヨタ車体がケルシー、嶋原の連続スパイクなどで11-6とリードし主導権を握る。しかし、そこから日立Astemoは長内、野中のスパイクなどで5連続得点し追いつくと、終盤まで接戦の展開となる。トヨタ車体は22-22から大川が3連続でスパイクを決めてセットを先取した。第2セット、一進一退の展開となり接戦のまま終盤に入る。日立Astemoが21-22からオクム大庭のスパイクなど3連続得点で逆転先にセットポイントを取るも、トヨタ車体はここから反撃。ケルシー、大川のスパイク、林田のブロックで3連続得点し、逆転でセットを連取した。第3セット、熱い勝負トヨタ車体は11-11からケルシーのスパイク、林田の連続ブロックなど怒涛の9連続得点で一気にリードを広げる。その後も林田が連続得点し、最後はケルシーが強烈なスパイクをコートに突き刺し試合を決め、リベンジを果たした。					

試合番号 : 463		試合会場 : 小瀬スポーツ公園体育館				観客数 : 842	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:05		試合時間 : 02:05		主審 : 佐藤 美里	
副審 : 服部 篤史		NECレッドロケッツ		通算		19勝 7敗 ポイント : 58	
監督コメント 初の山梨でのホームゲームということで、開催にあたりご尽力いただいたクルーの皆様にお伝えしたいです。また、会場にお越しいただいた皆様、ライブ配信で応援していただいた皆さん、熱い応援ありがとうございました。ヴィクトリーナ姫路の粘り強いプレーに苦しましましたが、苦しい状況でもサーブを含めた一本目の精度を特にこだわり、戦いきれたことが良かったです。明日もタフなゲームになると思いますが、皆さんの応援を力に変え勝利をつかみたいと思います。応援よろしくをお願いします。		3		25 第1セット 18		ヴィクトリーナ姫路	
				25 第2セット 18		通算	
				23 第3セット 25		5勝 21敗 ポイント : 17	
				25 第4セット 23		監督コメント 上位につけるNECレッドロケッツに対してチャレンジしようというゲームに入ったが、第1、第2セットは自分たちのコート上でボールが落ち着かず、良い状態でアタッカーに打たせることができなかった。第3セット以降、パスとセッティングが安定してアタッカーがいるんな選択肢の中でオフェンスできるようなった。特に古市が良さを存分に発揮してくれ、盛り返すきっかけとなったと思う。ただ、勝敗を分ける場面でのミスに関してはなくしていかなければいけないことも多いので、普段の練習の中らつきづめていきたい。山梨でのNECの素晴らしいホームゲームの中で試合ができ、大変嬉しく思います。ありがとうございました。	
				第5セット			
要約レポート 第1セット、序盤からNECレッドロケッツは古賀が連続でスパイクとサーブエースを決め10-4と流れを掴む。NECは中盤以降、キャプテン山内や廣瀬のブロックやスパイクでヴィクトリーナ姫路を突き放し、セットを先取した。 第2セット、NECは山田のブロックでブレイクリードする。姫路は佐々木、ブラクのスパイクで応戦し中盤まで競り合う。NECは終盤に山内がスパイクを決め、セットを連取した。 第3セット、競り合った展開から姫路がブラク、長野、古市の攻撃で18-11とリードを広げる。NECは終盤に古賀、柳田のスパイクで応戦するも、姫路の田中がスパイクを決めて、セットを奪い返した。 第4セットも中盤までサイドアウトの応酬となったが、NECはウィルハイトのバックアタック、島村のスパイクで一歩抜け出し22-20とリードを広げる。姫路はブラク、古市のスパイクで23-22と逆転に成功するも、NECは廣瀬のスパイクでマッチポイントを掴み、最後は山田が姫路ブラクのバックアタックをブロックし、セットカウント3-1で勝利した。							

試合番号 : 464		試合会場 : 小瀬スポーツ公園体育館				観客数 : 887	
開始時間 : 15:50		終了時間 : 17:55		試合時間 : 02:05		主審 : 澤 達大	
副審 : 饗場 和恵		埼玉上尾メディックス		通算		15勝 10敗 ポイント : 45	
監督コメント 今日はとてもハードな試合になるので、簡単なミスもなくしていくことが重要とミーティングで話しました。結果は負けてしまいましたが、高い集中力でプレーできていたと思います。明日も重要な一戦になります。気持ちは前向きに、明日の試合に向けて準備します。		1		22 第1セット 25		久光スプリングス	
				25 第2セット 23		通算	
				31 第3セット 33		17勝 7敗 ポイント : 52	
				12 第4セット 25		監督コメント 第1セットの入りが悪く、相手のペースに合わせすぎてしまい、中々自分たちのペースをつかめずいた。しかし、ミスに助けられた部分もあったが取り返すことができた。相手に隙を与えてしまい、第2セットを失うことになったが、第3セット以降持ち直し、3ポイントを得ることができた。来週からタイトなスケジュールであるが、チーム全員で力を合わせて戦ってきたい。本日もたくさんのご支援をありがとうございます。	
				第5セット			
要約レポート 4位久光スプリングスと6位埼玉上尾メディックスの対戦。 第1セット、序盤から埼玉上尾はロレンネ、佐藤のスパイクが決まり、流れを掴む。久光は中盤にアキンラデオの活躍などから6連続得点を挙げ、逆転する。そのまま久光が逃げ切り、セットを先取した。 第2セット、久光が4連続得点等で先行するが、埼玉上尾は粘り強いレシーブからの内瀬戸のスパイクが連続して決まり逆転に成功し、そのままセットを奪い返した。 第3セット、序盤は久光が石井のサーブでリズムをつかみリードするが、中盤に埼玉上尾は内瀬戸のサーブエースなどで追いつく。その後はお互いに譲らず、一進一退の攻防を繰り返すが、最後は埼玉上尾のサーブミス後、久光がブロックで得点し、久光が手に汗握る第3セットを33-31で奪った。 第4セット、埼玉上尾のミスに乗じて、久光はアキンラデオ、中川が連続でスパイクを決め、終始リードする。最後はアキンラデオのブロード攻撃が決まり、久光が制した。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗 ポイント : -		-勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		1		第1セット		監督コメント	
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗 ポイント : -		-勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		1		第1セット		監督コメント	
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							